

可部カラスの会

第 101 号 2006.6 20

大文字にぴったりマッチ

榎の谷川「百八つの灯り」

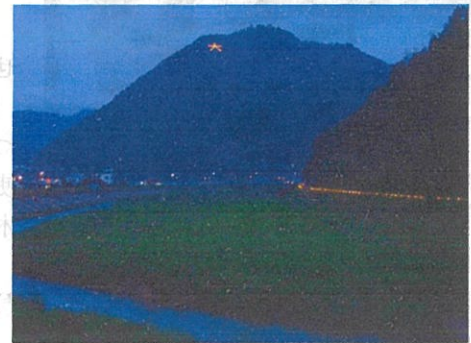
「うまいことできたでえ。」榎の谷川の左岸に、百八つのあかりをともして大文字祭りの応援をしたい。そんな気持ちで集まったのはカラスの皆さんです。

竹筒を斜めに切って、ロウソクを…の予定は、うまい具合に光が届かず、やむなく中止。替わって採用されたのがガラス（大きめのコップ型）にロウソクを立てることでした。

着手したら少々の手間はかかっても、やり遂げるのがカラスのやり方。配置を終えて、光が入れると、「やったあ」の音があがります。そして「かんぱ〜い」の声にあわせて缶ビールで喉を潤しました。

この日は入江呉服店でも、町屋コンサートが開かれており、休憩のひとつ、寺山橋まで出て、灯りに感動した人たちもあったそうです。

本部のいちから眺めると、土手沿いに並んだ灯りの先に大文字も輝いて見えるという、幻想的な感じです。イベントが盛り上がった頃から、気になっていた雨が到来。メンバー全員びしょ濡れになりながら後片付けをして、イベントを終了しましたが、また一つ新しい企画を誕生させて、充実した一夜でした。



ずっと続けて欲しい の声も

会報 100 号刊行を記念して、福祉センターで開いた展示会にも、灯りイベントの写真を飾りました。その中でも“灯り”の光景はは多くの人たちの注目を集めました。

会報の展示を見に来たお客さんに開催当日の詳しい説明をすると、「やっぱりカラスはおもしろいことをやってじゃのお。この人らは、いつでもたのしいことばかり考えてんじゃのお」とか、「すばらしいですね、来年は必ず見に行きます。」「嬉しい限りです。これからもずっと続けてください。期待しています。」など、企画に感動した声を沢山いただきました。

定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

5月24日(水) 参加者 10名
経過報告事項

- ・ 安古市高校放送部のインタビュ
- ・ 花畑を取材希望。和田木対応とした。
- ・ 榎の木プロジェクト着々と進行中。

協議検討事項

- ・ 会報100号展示会 6月11日〜17日
- ・ 福祉センターロビービーで実施予定
- ・ 打ち上げも17日予定
- ・ 安佐市民病院 健康祭り 5月27日(土)
- ・ 湯茶山口・接遇遠原・写真新澤がチーフ
- ・ 降雨対策 メールで連絡
- ・ 灯りプロジェクト 5月27日(土)
- ・ 17時現地集合 準備するものは着実に
- ・ 降雨対応は、健康祭りで判断
- ・ チンチロビッツ 7月15日
- ・ 6月14日(水) 参加者 14名

経過報告事項

- ・ 健康祭り 5月27日 反省会 6月16日
- ・ 灯り祭り同日夜間、来年はもっと拡大を
- ・ 会報展示 6月11(日)〜16(土)
- ・ 打ち上げも同日実施。

協議検討事項

- ・ チンチロビッツ 7月15日(日)
- ・ 祭典実施担当者来場、協力要請あり
- ・ 内容 灯りと榎の木物語公開予定
- ・ 新町商店街 Tシャ作成開始
- ・ 広島経済大学 「かべまちづくり」のビデオ作成計画 詳細は省略 代表・永井邸
- ・ などを収録の予定
- ・ ウイング コミュニティ サロン開店
- ・ 7月8日 寄付は個人で対応のこと

町の皆さんの 応援を背に受けて

会報 百号になりました



手書きで始まった「カラスの会報」が、8年目で100の大台に乗せることができました。

振り返ってみると、創刊号は平成10年3月5日、代表の「会報をつくろうやあ」で動き始め、その編集後記で“会報にパソコンを駆使せよ”との提言があります。2号は田中さん、そして3~4号が三木さん、5号目から現担当（和田木）が走り続けました。

イベントを楽しそうに綴って

とにかく活動をリアルに報告しようと、殆どの行事に顔を出し“書きまくった”という感じです。

岡山で開かれた「まちづくり全国屋台村」に発泡スチロールの屋台を作って、可部の酒をふんだんにサービス。イベント会場を沸かせて、話題賞と勝ち取ったことも愉快的思い出の一つです。

町を楽しく明るく…をモットーに、いろんなイベントを企画し、実行してきましたが、なんと言っても皆さんと一緒に、毎年行う「クリーン根の谷川」は年を経るごとに、参加者は増加、昨年は400名を越えるほどの盛況となりました。町の自然を大切に…の思いが一致したように感じています。

また、私たちが、予想もしていなかったことにも遭遇しました。総務省や国土交通省から表彰状をいただいたんです。広島市から“まちづくりデザイン賞”もいただきました。

私たちの活動に対し好意を持って、見ている人たちが大勢あることに驚いています。でも、ありがたいことです。

8年間の活動をすべて報告することはできませんが、町を愛する気持ちは、町の人たちと“かよこの嫁入り祭パレード”ができました。また大文字やチンチロビッツなど、町の祭りもみなさんと楽しんでいきます。これからも皆さんと一緒に町活性化に向けてがんばります。カラスをどうぞよろしく。

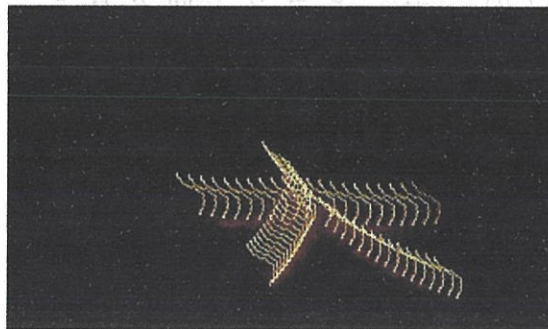
今年も楽しゅうに”おまつり”を

今年も夏祭りの時節がやってきますね。チンチロビッツ（明神祭）は7月15日、カラスは昨年同様、賑やかに店を出します。また“よがんす祭り”は8月26日（土）の予定。もちろん参加する予定です。

ちょっと面白い写真

この写真ちょっと面白いと思いませんか。5月28日（日）山口さんが自宅の窓から撮ったものなんです。

どんなアイデアか、それは秘密。



カラスのスケジュール等

カラスの定例会

6月		28日（水）
7月	12日（水）	26日（水）

カラスたちのイベント

7月8日（土）	ウイング コミュニケーション サロン オープン
7月15日（土）	チンチロビッツ（明神祭り）
8月5日~16日	夢街道の“可部のまちかど写真展”
8月26日（土）	よがんす祭り

可部カラスの会

第102号 2006.7.20

事務局 安佐北区亀山南二丁目1-3

Tel814-0162(寺本)

karasu@ms9.megaegg.ne.jp

<http://www.megaegg.ne.jp/~kabekarasu/>

休憩所は 大賑わい チンチロビッツ

7月15日、今年もやってきました“チンチロビッツ”。午後になると、駅前を中心とした旧道は、露天商の店を立ち上げる作業と、車の離合で混雑が激しくなってきたようです。その中を縫うようにして練り歩く”こども神輿“。



可部駅前広場の賑わい

カラスの連中は昨年同様に、可部駅前広場を借りて会場の設営に入ります。参加者はあらかじめ指定された持ち場で、無駄のない動きを見せます。大きな傘を広げて傘を立てる人、テントを組んで写真を飾る人、この傘がひろがると一挙に「チンチロビッツ」のモードになってきます。

そして今年は榎の木グループが推敲に推敲を重ねて、やっと出来上がった創作民話“榎の木ものがたり”も、町の人たちにご覧いだこうと張り切っています。もう一つ、大文字祭りで好評だった灯りも点します。

元気が戻った感じ 町のざわめき

日が暮れてお祭り気分も盛り上がり、旧道も賑わいを見せてきました。明神社に参拝する人の行列は、参道にあふれ、拝殿で御幣を振る梶川さんも忙しそうでした。

町を歩くと、久保田酒造さんがお酒を並べて、お客さんをお呼び込む威勢のいい声が聞こえてきます。さらに“ずいちゃんの店”も可部の銘菓を販売していました。昨年の町めぐりに参加したインドの青年は、カレーライスとナンを販売して好評だった様子。なんだか町に地元の人たちの元気が少し戻ってきた感じです。そんな動きを歓迎する声として、「フリーマーケット」があるとよかったねえとの声も聞かれました。

定例会じゃあ

こがあな話をしたんよ

7月12日(水) 参加者15名
 経過報告事項
 ・公民館祭り
 ・ウイング・コミュニティサロン オープン
 要検討事項
 ・定例会を中断し、可笑屋に移動して再開(落ち着いた雰囲気)
 ・チンチロビッツ 7月15日(土)
 灯り、可部駅西口、榎の木物語で対応
 冊子三百円 郵送料共五百円。
 14時 友広代表宅 集合のこと
 ・よがんす祭 8月26日、ビッグ駐車場
 ・武吉 コンテスト予定 12時準備開始
 にせがねプロジェクト初稿の流れ読み合わせ

6月28日(水) 参加者 9名
 経過報告事項
 ・広報担当負担軽減について 3名程度の体制を
 ・街道写真展 8月5日〜16日
 ふるって参加を
 ・レトロバス活用委員会がデザイン賞を受賞。7月
 20日 シャレオ中央広場で
 要検討事項
 ・可笑屋オープン 7月8日 寄付は個人で対応
 一口三千円
 ・町めぐり 11月4日を予定。立川邸を案内予定。
 スタッフは交流方式を希望(夢街道)
 ・榎の木プロジェクト 絵本を発行三百円
 ・ウイング・コミュニティサロンオープン7月8日
 内部の飾り付け依頼、夢街道町づくりにも活用
 ・チンチロビッツ(明神祭) 7月15日(土)
 灯り、榎の木物語をテーマに。七夕は昨年同様

青民家再生 可笑屋オープン

7月8日(土)、皆さんお馴染みのウイングかべが古



民家を再生して、コミュニティサロン 可笑屋 (可部で笑って、楽しく生きようの意味を込めて)を立ち上げました。

折目の北側約100メートル、築200年と言われる松井邸を改築したもの。粋な暖簾を潜ると絵画や写真を展示するスペースが広がります。建物は古い歴史を物語る“ベンガラ塗り”の骨組でまとめられ、がっしりしたハリは力強さと開放感を感じさせてくれます。

式典と軽音楽でオープン

オープニングの式典は午後1時から開始。関係者や来賓の祝辞で厳粛なセレモニーは終了。

続いてラウンジでは応援に駆けつけた仲間が、オープニングセレモニーを。



まずは“A列車で行こう”でスタート。アルトサクソとピアノ

で数曲を軽々と演奏してくれ、楽しいひと時を演出してくれました。この雰囲気であれば、三味線のジャムセッションがあっても違和感のない、そんな雰囲気を感じさせてくれるでしょう。

なお、いままで公民館を利用していたカラスの定例会(毎月第二・四水曜午後7時から)を今後は、この可笑屋で開催する予定にしています。

カラスのスケジュール

カラスの定例会

7月 26日(水)

8月 9日(水) 23日(水)

カラス等のイベント

まちかど写真展 8月5日～16日

よがんす祭り 8月26日(土)

15:00～21:00 ザ・ビッグ 屋上駐車場

まちめぐり 11月4日(土)

創作民話 榎の木ものがたり

このたび可部カラスの会の歴史部が、可部の町の発展に大きく貢献した「山まゆ産業」を題材にした創作民話「榎の木ものがたり」を作成し、発刊の運びとなりました。

小学校低学年向き 1部300円

申し込み先 事務局か、お知りあいの会員にお申し付けください。 karasu@ms9.megaegg.ne.jp

贋金物語のシナリオ進行中

幕末から明治にかけて全国で作成された贋金、広島藩の命を受けて、止むを得ず手を染めた南原屋、木坂文左衛門さんの苦悩を中心とした流れを描いたシナリオただいま作成中。

過酷な運命に、もてあそばれた木坂氏の動きをどんなタッチで描かれるか請うご期待。

星に願いを(笹竹への願いごと)

- ・ 看護婦さんに なりたいです
- ・ ひいばあちゃんが 元気になれるように
- ・ とりあえず うちの金魚が これ以上増えませんが
- ・ 可部の人が もっと心優しい人でありませうように
- ・ スタメンになれるように
- ・ みんながず～っと 幸せでいられますように
- ・ イケメンで性格優しくて 幸せな女になりたいです
- ・ 勉強しなくても 高校で良い成績をとれますように
- ・ おとうさんが タバコをすいませんように
- ・ M先輩のくせ毛が治りますように
- ・ 火星に合いたい！！
- ・ 画家になって ピカソをこえる
- ・ ママが長生きしますように(わたしが大人まで)
- ・ 世界が平和になりますように 長生きしたいよー
- ・ 子宝に 恵まれますように
- ・ 小学校の給食が 全部食べられますように
- ・ おくびょうが なおりますように
- ・ 親切に なれますように

可部カラスの会

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3

Tel814-0162(寺本)

karasu@ms9.megaegg.ne.jp

http://www.megaegg.ne.jp/~kabekarasu/

第 103 号 2006.8. 20

お盆を過ぎて相当の日が経過しましたが、依然としてこの暑さはどうしたことなのでしょう。まあ気持ちを切り替えて元気にこの夏を乗りきりましょうや。

先ずは秋に向けて、カラスが参加するイベントなどを中心にスケジュールを紹介します。

今年もやります根の谷川清掃 9月24日

8:00~10:00 小雨決行 (雨天中止)

根の谷川の清流で栄えた可部の町、平成9年の第一回から、可部カラスの呼びかけに賛同した参加者の数は年を追うごとに増えて来ました。また、協賛団体として、可部学区・可部南学区公衆衛生推進協議会も加わり、イベントの裾野がおおきく広がってくることが感じられます。

昨年は参加者が430名をオーバーする大盛況。用意した手袋が足りない。止むを得ず片手だけにはめて作業してもらったりして…。(後刻再度配付したり)ほろ苦い記憶として気憶に残ることでしょ。

さらに飲物は従来どおり一人一本ずつ配付しましたが、増える人数に追いつかず、途中で追加補充をするやらで、財政的にも大変な目にあいました。(これはここだけの話ですよ)。だから今年はお茶を沸かして、キープに入れておいて、皆さんに適宜飲んでもらうように考えています。

9月24日(日) 午前8時に作業を始めますから事前に受付を済ませてください。集合場所は高松橋南側、可部高校運動場付近です。

広島市流域の水瓶に位置づけられる太田川、その一翼を担い、きれいな水で可部の繁栄に貢献してくれた根の谷川を、できる限り私たちの努力で、きれいな川にしたいですね。



平成15年の作業風景

定例会じゃあ、こがな話をしたんよ

7月26日(水) 可笑屋 参加者 19名
周知事項

可部のTシャツ 次回までに注文を
活動保険の説明 一口五百円
加入料は次回持参のこと

現時爆弾の成果測定?用パラシュート
新澤さん持参ナイロン製3個の内の一部
樫の木物語 売れ行き順調、今回は「町めぐり」をターゲットに?

8月9日(水) 参加者 11名
周知事項
可部のTシャツ、締め切り間近お早めに
活動保険 締切ります
討議検討事項
クリン根の谷川 担当江角 準備開始
町めぐり 9月4日 企画から実行委に移行の段階。内容を確定のこと
よがんす祭 8月26日(土) ビッグ駐車場
新町商店街からにぎわいの創造を。の説明
カラスの楽しみ方でやってほしい。
写真展 西口、クリン根の谷、灯りほか
可部のカラスの歌で踊らんか。
根の谷川アンケート、次の定例会で集約。

高橋主計さん「可部のスケッチ」
すばらしい作品。活用させていただく

クリン根の谷川 9月24日 チラシの準備

を

可部のうまいもの天満屋で でも ちょっぴりPR不足？



ことを痛切に感じた様子でした。

まとめて販売する店と看板が…

こうした状況を、天満屋の販売に携わったウイング可部の三島さんに、皆さんの思いを代表して語ってもらいました。

「天満屋でも、お客様は可部に愛着を持っているかたが喜んで買ってくださいなんです。お客様の立場で見ると、売り場は一つの方が、一度に用事が済むので都合がいいんです。私たち売る立場でも同様に、その都度レジへ足を運ぶこともなく、すばやいお客様対応ができると思うんです。

そのうえ、売り場の人の配置も無駄なくできると思います。

この点は参加者が、いろいろ問題を捉えては話し合ったことなんです。

もう一つ、可部の土産を買っていただくのに、可部をアピールするフレーズの入った看板が欲しかったんです。

今回は特に「可部夢街道町めぐり」の小さな幟しかなかったもので、さびしい思いをしました。

可部の土産を買ってもらうのに、ボランティアグループの小さな幟では、アピール度が全く違うと思いました。

そういう看板が常備されていて、その都度看板探しをすることのないような配慮が必要だと思います。

もう一つ、これも参加者で話し合ったことなんですが、可部の夢街道にも「お土産を一箇所で買い求められるセンター」があったらなあ。と思います。

店に入るのに、気おくれするようなどころも有るようで、遠慮なくみやげが揃えられるセンターが欲しいんです。

さらにそのおみやげを宅配便で送ることも考慮したら…。とも考えています。

そうした販売センターの位置を表示したマップがあれば…。と思います。(会報担当 要約)

カラスのスケジュール等
カラスの定例会
9月13日(水) 27日(水)
根の谷川クリーンキャンペーン
9月24日(日)
夢街道 可部の町めぐり11月4日
可部八丁目 立川邸を中心に



可部カラスの会

事務局 安佐北区亀山南二丁目1-3

Tel814-0162(寺本)

karasu@ms9.megaegg.ne.jp

http://www.megaegg.ne.jp/~kabekarasu/

第104号 2006.9.20

町めぐりに追加される旧家

立川邸

今年の可部夢街道まちめぐりの一つに加わることが決まった旧家、立川邸を紹介しましょう。

出雲街道と石見街道の分岐点（Y字型の中央部で、分岐を示す石があった）。で石見街道側には白壁が続く、すばらしいお家です。

立川家の当主は、事情があって家を空けていたため整理が必要だそうですが、要望によって家屋を見てもらい、古さを感じとってほしい。と家屋の開放に積極的です。



立川邸の中庭の様子

可部夢街道まちづくりの会も（カラスとともに）邸を見せてもらってびっくり。「これはたまげた。ほんまにすばらしい。なんとか実現に持ち込みたい」と意欲満々です。

実施は、11月4日（土）を予定していますが、当日は「可部公民館祭り」も開かれるので、福祉センターの公開空地に食べ物の店を開く予定もあるとか。そしてここから立川邸までの案内はカラスが企画します。これで賑やかな雰囲気が出されることでしょう。



旧道沿いにある立川邸の玄関

環境整備にご協力を

雑草の除去・階段等の整備

さてその前にやっておくことがあります。まずは庭の草取りと邸内の案内コース補修です。ただ単に古い物のすばらしさを感じるだけでなく、きれいな庭で文教のお嬢さんが奏でる琴の音に聞き入る…。そんな優雅な雰囲気を味わうのも一興ですね。

会場までの案内は、カラスが引き受ける予定で、公民館の案内所から立川邸までは車での送迎を検討しています。楽しい一日を過ごしましょう。

定例会じゃあ がお話をしたんよ

<p>9月13日（水） 参加者 16名</p> <p>周知事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もりメイト 事務局長来可 ・ 9月24日（日）高松山 見晴らしの環境整備 終了後カラスと意見交換会 12時から代表宅 ・ 夢街道計画 夢街道交通量調査 協力を ・ 榎の木会 次回テーマ 太田川橋 ・ バス祭り 新澤・遠原 参加 ・ 協議検討事項 ・ クリーン根の谷川 9月24日（日） ・ 下流 代表・遠原・中野・上森 ・ 上流 上記以外 連絡班 加納 ・ 会報編集グループ化 毎回2名ずつ持ち回り ・ 104号 川本さんの絵葉書を紹介 山口 ・ 105号 江角・新澤 ・ モンゴルコンサート 10月23日 アステール 	<p>8月9日（水） 参加者 11名</p> <p>周知事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可部のTシャツ、締め切り間近。お早めに ・ 活動保険 締切ります ・ 協議検討事項 ・ クリーン根の谷川 担当江角 準備開始 ・ 町めぐり 11月4日 企画から実行委に移行の段階。内容を確定のこと ・ 上市の花畑イベント応援依頼あり ・ 9月2日 灯りプロジェクトで臨みたい ・ よがんす祭 8月26日（土）ビッグ駐車場 新町商店街からにぎわいの創造を。との説明 ・ カラスの楽しみ方でやってほしい。 ・ 写真展 西口、クリーン根の谷、灯りほか ・ 可部のカラスの歌で踊らんか。 ・ 根の谷川アンケート、次の定例会で集約。
--	--

賑やかな旧道を絵で再現

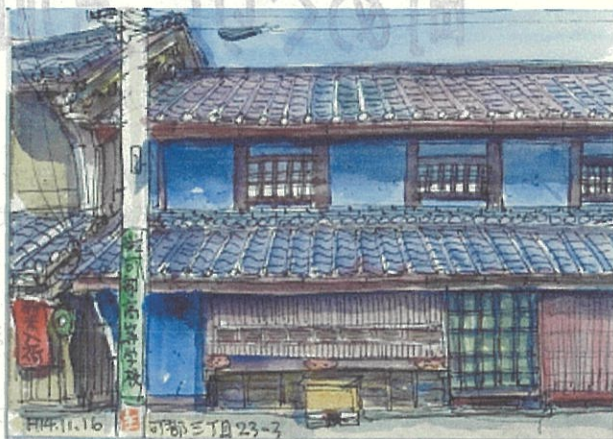
作者のご好意で まもなく公開も

活気に溢れた可部の旧道をつぶさに描き写された絵を見るチャンスに恵まれました。描いた方は東区にお住まいの高橋 主計さん。

高橋さんの思いは、風情のある街も、今描いておかないと無くなってしまいます。そんな気持ちでしょうか、いろんなどころに足を運び、スケッチに余念がありません。

高橋さんの奥さんと高校の同級生の木原、山口さん（いずれもカラスの仲間）から照会されて、200枚余りにも及ぶ可部の風景を見たとき、そこで生活する人の声が聞こえてくるような感じでした。

可部で展示することの同意をいただくよう尽力してくれた山口さんは、その感動を次のように述べてくれました。



1枚のスケッチから

高校の同級生の高橋さんから届いたハガキ、それは高橋さんのご主人が平成5年6月に描いたものでした。当時食料品店を営んでいた我が家が、鮮明に表現されていて、往時を思い、懐かしく感動しました。可部の町並の絵は200枚余りスケッチしてあるとのことでした。

先般「可笑屋」オープンの際、三島さんに絵の展示の話をしたところ、「是非とも飾らせてほしい。」との賛同をいただき、同級生の木原さんに高橋さんと交渉してもらい、快く原画を貸していただきました。カラスの定例会でも大好評で、是非展示させてもらうことになりました。

絵の複製も許可していただき、CDに保存したうえで、近日中に可笑屋の場にふさわしい絵を展示する運びとなりました。

私が貰った1枚のスケッチは大切に残しておこうと思います。

松田さんを探そう

中国新聞安佐北支局に勤める松田高志さん。ご存知のように9月19日夜、局地的な豪雨の中を取材に訪れた安佐町鈴張の鈴張川付近で行方不明となりました。

関係者の皆さんも懸命の捜索を続けていますが、われわれ“カラスの会”も自分たちにできる方法でお役に立ちたいと考えています。

読者の皆さんも地域の人たちとともに捜索を手伝ってくださいませんか。



カラスのスケジュール

カラスの定例会

9月 27日(水)

10月 11日(水) 25日(水)

カラスたちのイベント等

クリーン根の谷川 9月24日(日) 集合7時

上流班 高松橋下流 下流班 上原橋下側

もりメイトと交流会 12時 於 代表宅

大正時代の写真の話 行森老人会

夢街道 旧道の交通量調査 11月12・16日

まちめぐり 11月4日(土)

- ・ 夢街道まちづくりの会 旧道 10時～14時
夢街道・花の散歩道のご案内
- ・ 可部カラス 公民館～立川邸間の輸送と邸内のご案内

第105号 2006.11.20 (10・11月合併号)

根の谷川清掃に550名が参加

痛ましい傷跡を残して過ぎ去った台風。影響が残る9月25日、例年どおり「クリーン根の谷川」を実施しました。今年で10回目となるイベントなので、町の皆さんも作業の進め方も心得たものようです。

当日は可部高校の体育祭が急遽変更されて、クリーン根の谷川とバッティングです。それに、おなじみの「もりメイトクラブ」の皆さんも、高松山頂上の景観を整備するため、大集合してくれました。

いろんな条件が重なって、集まったゴミの搬送に少し手間取る光景もありましたが、作業はなんとか収まったようでした。

今年も“ふれあいチャンネル”の取材がありました。子どもたちが、泳ぐことのできる川になることを願ってクリーン根の谷川を始めて今度で10回目、たくさんの参加があり、みなさんの川に対する関心の深さを改めて感じたことなどを話しました。

集められたゴミは軽トラで10台分くらいあったでしょう。ダンプトラック用のタイヤの内1本は新品で、持ち主に連絡。早速引き取りにこられました。これ以外に何本も流失したそうです。

今回の反省点として、開会の説明のときに、分別収集のことももう少し詳しく話しておくこと、説明時マイクの音量不足や一次収集完了後の確認ができていなかったため、関係者に迷惑を掛けたことなどなどがありました。

可部のまちづくりには欠かせない河川空間の“根の谷川”に、皆さんの関心をもっともっと広がってほしいですね。

なお、高松山で作業を済ませた“もりメイト”の皆さんと一緒に打ち上げをやって、楽しいひと時を過ごしたことも報告しておきます。



アーチェリー練習場に集合した町や学校の皆さん・

定例会じゃあ

- ・ 正月飾り(檜の木の間松)
- ・ 夢街道との共催の検討を
- ・ 水質調査&芋煮会11月2日
- ・ 謝礼について
- ・ 一定の整理をして…
- ・ カラスのあり方
- ・ 若い人にも入会できる楽しそうな雰囲気を用意したい
- ・ 成果も反省もあった…
- ・ 町めぐりの総括
- ・ カラスの忘年会12月16日(土)
- ・ 加納・新沢・遠原
- ・ 下行森老人会对説明11月21日(火)

こがあな話をやったんよ

- ・ 11月8日(水)
- ・ 朝日新聞取材7日遠原・和田木・深田で
- ・ 対応 発行は21日
- ・ 会報 10月と11月を合併で発行
- ・ 11月の担当者は12月号へ
- ・ 中国新聞 江川さん安佐北支局着任
- ・ 会報担当 11月 辻・遠原
- ・ 高松山案内 11月8日から3回実施
- ・ 11月4日(土) 10時~16時
- ・ 可部の町めぐり(カラスは立川邸)
- ・ 11月8日(水) 10時~16時
- ・ 中国新聞 江川さん安佐北支局着任
- ・ 10月25日(水) 参加者
- ・ 水質調査&芋煮会11月12日(日) 9時
- ・ モノ・コト開発支援100スキの紹介
- ・ かよこバス
- ・ 可部駅西口オーブンは夢街道の主体で
- ・ 可部高校郷土学 10月31日・11月28日
- ・ 新沢・遠原 参加希望者は随意に

協賛の輪広がる可部の町巡り

可笑屋・立川邸の取り組み

今年で3回目を迎える可部の町めぐりは、新たに協力して公開していただく店舗や民家も増えて年々盛大になってきました。なかでも200年前の商家である松井家をNPO法人「ウイング」が借り受けて、一部を改装し軽食・喫茶「可笑屋」を開店したこと、それに南原口にほど近い立川邸が今回初公開となったことが皆さんの期待・関心を高めたのではないのでしょうか。

また、可笑屋のコーヒーは既に美味しいという評判となっていますが、カレーの他に可笑屋独自の定食メニューづくりのために可部カラスの会“モノ・コト開発支援隊”が協力しています。町家古民家食事処「可笑屋」にふさわしいできるだけ地産地消で素朴でも美味しい和定食ということで、11月4日の町めぐりでは古代米入りおむすびに一汁三菜の試食用定食が提供されました。試食結果の評判は上々だったとのこと、これからの可部の名物料理の一つにでもなればと願います。

今回初公開の立川邸は明治に建てられ、造り酒屋もされていた大きな邸宅ですが、大正の終わり頃には東京に住居を構えられ、戦時中に一時住まいとされていたことはありました。しかし、戦後は時々管理のために可部の立川邸に帰られていた程度で、空き家同然の状態でした。大きな白壁の塀に囲まれた立川邸を地元の人たちは「開かずの門」と言ったり、中に入ったらものすごく立派のものが沢山ある筈だという噂もありました。この立川邸が公開されるということで地元の皆さんは大変喜ばれたのではないのでしょうか。

立川邸公開のきっかけは、現在、可部に戻ってコンピューター関連の事業をされている東京生まれで東京育ちの4代目立川幸男さんが、この立川邸が地域の人たちに役立ち、なんらかの社会貢献が出来ないものだろうかというお考えをお持ちであることがわかったからです。



琴の音を楽しもうと庭園に集まったお客さん

家の中の掃除や広い庭の手入れは私たちが行いますので今回は是非とも可部の町めぐりで公開させていただきますとお願いに上がりました。

11月4日の当日は朝から快晴の天気にも恵まれ、可部の夢街道町めぐりは大勢の参加者で賑わいました。立川邸では文教女子大付属高校と琴部の生徒さんによる琴の演奏や高橋主計氏の可部の町スケッチ展、立川家所蔵古民具展などもあって終日来訪者は絶えませんでした。このような邸宅が今日まで保存されていたことに訪れた人たちはまず驚き、今回はじめて一般公開されたことに感謝とよろこびの言葉が多く聞かれました。

立川邸の受付で来訪者数を調べたところ680名もありました。今回の町めぐり参加者は恐らく1,000名を超えると思われます。この可部の町めぐりイベントを今後定着させ、継続していくためには次のような新たな課題が生じてくると思われます。

一つ目は、企画実施主体・組織の拡充、次に交通規制や歩行者天国の実現、そして二つ目は旧道と54号線商店街との連携タイアップなど今後検討していく必要があります。

カラスたちのスケジュール

カラスの定例会

10月	25日(水)	
11月	8日(水)	22日(水)

カラスたちのイベント等

総合的学習(可部高校)

10月26・31日 11月28日

新澤 遠原

立川邸の清掃 10月28日(土) 29日(日)

可部の町めぐり(可部カラス・夢街道)

11月4日 10時~14時

旧街道・花の散歩道

立川邸 可部カラスが担当

水質調査&芋煮会

11月12日(日)

下行森老人会 写真・映写会

11月21日(火)

新澤 加納・遠原

可部カラスの会

第106号 2006.12.20

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3

Tel814-0162(寺本)

karasu@ms9.megaegg.ne.jp

http://www.megaegg.ne.jp/~kabekarasu/

歴史街道散策マップ まもなく完成

出雲・石見街道の可部には史跡がたっぷり

可部本陣跡・可部宿・地蔵河原一里塚・伊勢が坪跡などの出雲・石見街道を地図上に記した「ひろしま八区ぐるっと散策みちめぐり」が年明け早々に完成します。

発行は市の市民局市民活動推進課。地図の編集にあたる、ひろしま歴史街道トリップ実行委員会から可部カラスの会へ取材の協力依頼があったものです。

カラスの会では歴史部会が窓口になって、夢街道の梶川さん、深田さんにも相談にのって頂くこととし、「三入神社」や「庄原往還」の記載を要望したところですが、「庄原往還」は研究者の間でルート特定について見解が一致していないとのことで、今回は見送りとなりました。三入神社は記載されることになりました。

マップ完成後には「出雲・石見街道ウォーキング」も計画されます。可部では下の浜の千代の松～南原川沿いの地蔵河原一里塚あたりまでのコースが予定されているところです。

このマップは新聞を広げた大きさで、旧広島藩・安芸の国のほぼ全域をエリアとした古代山陽道・西国街道・三田往来・都志見往来、それに出雲・石見街道も入っており、ワクワクするような紙面です。乞うご期待です。



定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

- 一月二二日(水) 参加者一四名。
- 〈報告事項〉
- ・一月二二日に下行森集会所へ
 - ・出前講座(新澤・新澤・遠原参加)
 - ・榎の木会は太田川を継続取組み中
 - 〈協議事項〉
 - ・会報の一月月号担当は辻・遠原で
 - ・編集長は和田木。
 - ・忘年会は十二月二三日、七時から
 - ・「ひふみ会館」で。参加集約は新澤。
 - ・二月一三日(水) 参加者二〇名。
 - 打合せのあと忘年会
 - 〈協議事項〉
 - ・榎の木の門松、夢街道と共催で、
 - ・今年には塚本家へ飾る。幕は他に二軒。
 - ・二月二八日の午後一時半集合。
 - ・歴史街道マップは榎の木会と夢街道で。

みんなで手伝って

聞きましょうや

準備は午後6時からです。

第5回 冬の夜に、心にしみる
町家コンサート

とき 12月22日(金)
(午後7時)

ところ 入江呉服店

出演 吉澤 徳武正和
公演費 千円

問い合わせ先 入江呉服店
082-241-1111

今年も飾ります「樫の木の門松」

みんな集まってえー

12/28の午後1時半 折目の塚本家へ

昭和の初期まで、可部にはお正月に大きな樫の木を門前に立てる可部独特の門松がありました。

昨年は朝枝 基様のご指導を得て、三木家へ飾らせていただき、往時を偲んでもらいましたが、今年も地元の深田町内会長のご尽力により、折目の塚本家へ飾らせていただくことになりました。

飾りつけは12月28日の午後1時半からです。

可部の歴史や文化を省みながら、これからの新しいまちづくりを考える一助になればと念じています。



塚本家を描いた高橋主計氏のスケッチより

温故知新 写真と映像で

可部カラス

行森地区の教養講座へ招かれる



玉縄神社の大きな銀杏がまっ黄色に染まった11月21日、可部カラスの会はその麓の下行森集会所へ出前講座に向かい、こちらが逆に感動と元気をもらって帰りました。

ラティス展示は明治期から昭和期までの軽便鉄道の勇姿や太田川を行く帆船など約50点の写真と、高橋主計氏の可部の町並みスケッチ50点余り。スクリーンは大正時代の可部の町並みを映したフィルムから「かよこの嫁入り祭」までのビデオとDVD6本、これを新澤さんがトーク・ショー形式で進行。

会場を埋めた60余名は、どれも老人クラブとは思えない、いきいきとした顔です。写真展示には「こりゃーおぼえとるで一懐かしいの」「よう古いものを集めたの、大事にしといてくれんさいよ」「町めぐりもあんたらが始めたんかー」。

スクリーンの上映は、対話を交えながらの3時間。ふるさとの歴史を知ること — 知れば愛着がわく — そこから改めるべきものと残すべきものが見えてくるのでは。とまちづくりを語り合ってきました。

熱心に見、耳を傾けて頂いた参加者の真摯な態度には敬服しました。地元自治会の長年の充実した取り組みが、この日の盛況につながったものでしょう。

私どもも行森地区の自治会活動に学ぶところ大なるものを感じた一日でした。行森地区老人クラブ連合会のみなさん、ありがとうございました。お元気で。

カラスのスケジュール (12月～1月)

・12月28日午後1時半～

塚本家で樫の門松取付け

・1月4日午後1時半

樫の木の門松取外し

可部カラスの会

第 107 号 2007.2.10

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3

Tel814-0162(寺本)

karasu@ms9.megaegg.ne.jp

http://www.megaegg.ne.jp/~kabekarasu/

来年もやろうね樫の門松

可部独特の“樫の木の門松”今年も折目の塚本さん宅へ飾らせてもらいました。ゆわれについて話し合う子供づれ、「新聞を見て撮りに来た」という光景もしばしば。

初めは腰の重かった塚本さんでしたが、飾りつけの進捗とともに顔はほころび、飾り付け後には“労をねぎらって”湯茶の接待まで…取り外しの日には「今年は旧友や親戚からも、えっと照会の電話を貰うて、何年ぶりかのええ正月じゃった。続けんさいよ」との励ましも。

地元一丁目の町内会長で、ご尽力いただいた深田さん「町が賑わうことならなんでもやるよ。苦労はいとわん」と、力強いことば。

今年も各方面からのご協力でできました。樫の木の切り出しは上原の山本さん。飾り付けの工夫は鉄口工務店さん。高札板は田島さん。そして派手な電柱看板も、私たちの思いを込め込め込め、すぐに撤去してくれた広告主…ありがとう。

今年もカラスは町衆の熱い思いを背負って飛びたいものです。

カラスの活動を披露

可部カラスの会代表 友広大造

可部カラスの会ができて約10年がたちました。会のメンバーも発足当時の平均年齢、六十うん才が、七十うん才になり、一見、老人会の集まりのように見えますが、メンバーの精神年齢は四十才位のつもりでおります。

先日可部カラスのホームページで福岡市のまちづくりの担当者から、町づくり活動を定着させるため、可部カラスの活動事例を紹介してほしいと講演を依頼されたようです。

メンバーは調子のりが多く、相談の結果、「可部カラス劇団」による町づくりの寸劇を披露することになりました。

この寸劇は過去に何度も行っており、市民から好評をいただいております。

三月にマイクロバスを借りて、カラスの劇団員初めての県外公演で張りきっております。本来この劇は広島弁丸出しですが、せっかく博多に行くんじゃけえ、博多弁でやるうとの意見もあります。

いざれにしてもみんなの気持ちは、劇のことより、帰りのバスの中の反省会を楽しくみに行く人が、ほとんどです。

本来このような活動は楽しくなければ、続かないし、よいアイデアが生まれません、せっかく色々な職業を経験した人の集まりです。色んな特徴を出し、尊重しながら活動をすれば楽しいものになります。これからも町の人と一緒に楽しい活動を続けましょう。

定例会じゃあ ことがあな話をしたんよ

1月10日(水)
報告事項

- ・二宮産業 大型ふいご 可部小へ移動
 - ・歴史マップ 17日現地を歩く会(新沢)
 - ・縄縄い機 活用を検討 整備担当 竹本
 - ・樫の木門松 高い評価 反省点も
 - ・可部駅西口 完成は7〜8月か
 - ・贋金物語 中野さん史実整理作業に着手
 - ・カラス結成10年の振り返り 要検討
- 協議事項
- ・忘年会での振り返り事項 次回で論議
 - ・たたき台は事務局で作成

1月24日(水)
報告事項

- ・縄縄い機試運転 友鉄マシンで 期待大
 - ・街道マップ散策
- 協議事項
- ・縄縄い機 プレーパークで実践
 - ・八区イベントガイド
 - ・大文字灯り&正月飾りプロジェクト提出
 - ・カラスの生い立ち 福岡から出演依頼
 - ・振り返りについて

- ・会員・会報名簿 連絡簿の整備を早急に
- ・会報希望者調査 アンケートで確認
- ・年間活動計画 3月までに担当を決定
- ・プロジェクトリーダー制 計画もきちんと
- ・メールの使い方 皆さんのご協力を…
- ・10周年プロジェクト 次回から協議開始
- ・様式等を準備
- ・副代表等の名称 次回協議 原案の準備要

ただ今 縄緬い機と格闘中

年の瀬も押し迫ったある晩のこと、上市、友貞神社付近にお住まいの岡松さんから、会報担当あてに電話がありました。「豊平の実家の納屋に“縄を緬う”道具があるんじやが、カラスは使ってみかね。」「へえ、それは面白げなねえ。子供らが珍しがるかもわからんねえ、カラスで相談するけえ、ちょっと時間を頂戴や。」もちろん相談の結果は“もらいに行こうやあ”で決定。

土曜日の午後、どうやらメンバーがそろったところで、2台の車に分乗して、豊平へ。縄緬い機を見て、感動。「これならすぐにでも使えそうじゃけん、可部小へ持ってゆく前にテストしてみようやあ。」と衆議一決。森城団地の“友鉄マシン”にとりあえず預け、折を見てテストすることに…。



納屋からおろして、軽トラに積んで…

これは面白い 遊べるでえ

後日、何とか縄緬い機を稼働させてみたい3羽のカラスが、動かしたそうですが、機械の動きが面白く、失敗しては大騒ぎ。「ワシは虜になりそうな。」とは代表の感想でした。



縄緬いに果敢に挑戦する子供達

そして子供たちに披露の日です。2月4日、根の谷川河川敷。今日は「寺山にプレーパークをつくろう会」の活動日です。集まった子供たちに縄緬い機を見て、触って縄作りを実感させようと、やってきました。

大人たちが寄ってたかって楽しげに操作している様子を見ながら遊んでいた子供たちも「僕らにもやらせてやあ」とやってきました。

最初は縄に緬うことの位置づけもわからないまま、ワラを入れるんですから、タイミングが合わず、一本の縄に繋げることができません。

それでも「僕にもやらせて、私にも」と入れ替わり、たち代わって動かしました。

そして心配していた事態発生。動力を伝えるベルトが切れてしまったんです。応急措置を行って始動させたが、思うように参りません。作業はここでギブアップ。

思いついたのが足踏みミシンのベルト。求めることができたので、再起動できるかもしれません。なんともものんびりしたやり方ですが、これこそカラスの本領を發揮できたイベントでしたね。

なお、当日は中国新聞も取材にこられ（翌日の新聞に掲載）しました。

カラスたちのスケジュール

カラスの定例会

2月 28日 (水)

3月 14日 (水) 28日 (水) カ

ラスたちのイベント

2月17日 (土) 13:00 町づくりフォーラム
於 袋町 市民交流プラザ
加納さん 出演

3月11日 (日) カラス劇団 福岡へ
カラスの生い立ち寸劇を披露

自分の責任で 自由に遊ぶ

プレーパークの基本理念

タイトルで紹介したように、禁止事項のない冒険遊びです。

危険だからと何でも大人が手伝ってしまうことのないように火・水・木など自然の素材をノコギリやかなづちなどの道具を使って、子ども自身で工夫しながら自由に遊ぶ場所で、遊びの中から他人との係わり合いや危険を避ける方法を学び「生きる力」を身につけることを期待します。

以上、当日の手引書を参考にまとめました。

可部カラスの会

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3
 Tel814-0162(寺本)
 karasu@ms9.megaegg.ne.jp
<http://www.megaegg.ne.jp/~kabekarasu/>

第 108 号 2007.6.5

見つけた初代バスの写真

「私たちにとって、いえ広島の皆さんにとっても大変うれしい写真が見つかりました。」

安芸高田市吉田町の旧家で見つけたのは、横川～可部を走ったと断定されるバスの写真でした。地元の郷土史研究会の方が発見。早速カラスの会に連絡が入ったというものです。

写真にはまぎれもなく、「可部行 満員」という表示が、また車掌らしき人の姿も見えます。

どこで撮影されたのか、詳しいことははっきりしませんが、人の集まり具合から想定できることは、横川と推察され、可部に向けて発進する前に撮影されたものと考えて間違いないでしょう。

さらにこの写真は、「みの・もんだ」の司会でおなじみ「おもいっきりテレビ」でも披露され、町の皆さんにも大変よろこんでもらったようでした。

また、自動車の歴史に詳しい方の訪問もあったり、なんだか劇的な発展を見せてくれそうな予感もしてきます。こうした朗報も、カラスの活動を理解してくださる方が大勢あることを実感させられました。カラスはこれからも楽しみながらの町づくりを進め、いつか一緒にイベントでもやると面白いでしょうね。



はじめてみるバスに全員集合？

可部「通」50名に認定証 健康祭りで

5月19日、第4回安佐市民病院の健康祭りがやってきました。でも昨年と同様、雨の影響を受けて、会場は2階のホールです。オープニングは可部中の皆さんが演奏するブラスの響き。カラスの会場では三丁目、西本さんが作詞作曲した「可部カラス」の歌を西本祐太郎さんが歌ってくれました。

さて、今年のカラスの出し物はどうと写真の展示にあわせて、

可部を理解してもらおう試みとして、可部通の認定クイズに応募し

てもらい、得点によって認定証を贈呈することにしました。参加した皆さんの中に「私は九州で育ち、縁あって可部にきて30年にもなるのに、可部のことがわかっていない。」という声も聞かれたとか。

そう。可部のことをもっと知ってほしいとの願いもこめて、「可部通認定」のクイズに応募してもらうことにしました。もちろん応募された皆さんには認定証も差し上げました。

出題は、できるだけわかりやすいものを…と考えましたが、皆さんの声の中には「むつかしのお」との声も聞かれたとか。結果は1級20名、2級22名、3級1名でした。子供さんには

いささかハードルが高かったようですね。ときどきこんなクイズを予定しますから、再度アタックしてみてはいかがでしょう。



カラス一座

福岡で熱演



3月11日(日)早朝、安佐北区役所前を出発したカラスのメンバー14名は一路福岡へ。話は2年前の3月17日のこと、福岡西区役所にお勤めの女性(上原さん)がカラスを尋ねてやってきたんです。安佐北区役所に相談の結果、カラスの活動を紹介されたようでした。

その日は「カラスの定例会」の日なので、会議で討論に参加してもらいました。友広代表が「カラスの立ち上がり時期の苦労話を語り、福岡の状況と比較して、まったく同じで。行政とともに活動すれば大きな道が開かれることを力説したうえ、「カラスの寸劇を持って福岡へ行く。」こと

を提案、そして今回の遠征旅行が実現したのでした。

役者(踊り手)もチンドン屋(バイオリン)も勢揃い。途中も台本の読みあわせをやったり、にぎやかな風情です。役者全員を乗せたバスは、太宰府天満宮で芝居の成功を祈り、時間を調整して福岡西区役所へ到着です。

暖かいもてなしに カラス感動

福岡西、区役所の皆さんの出迎えを受けて会場へ。いよいよ素人劇団可部カラス公演の幕開けです。広島弁丸出しの台詞に適切なアドリブを挿入しながら熱演は、西区役所の関係者はもちろん町づくりグループ「まるごと博物館推進会」の関心を引き付けました。さらにカラスの活動内容をまとめたビデオの上映の後、会の運営や経済的な基盤も行政から独立し、自由な立場で活動しているカラスの活動に驚きとともに強い関心をもたれたようでした。

その後会場は懇親会場に早代わり、ビールを汲み交わしつつ、話の内容を深めたり、可部と福岡が入り乱れて炭坑節を踊ったりして(もちろんバイオリンは加納さん)お互いの交流を深めることができました。

午後5時ころ、福岡側の熱烈な見送りとお土産までいただいて、帰路につきましたが、バスの中でも公演の達成感と重責を果たした満足感は、アルコールの力でさらに増幅され、唄ったり踊ったり、4時間以上の道中はまったく気になることはありませんでした。

福岡の皆さんどうもありがとう。広島へも遊びに来んさいや。

左右の土手にロウソクの灯り

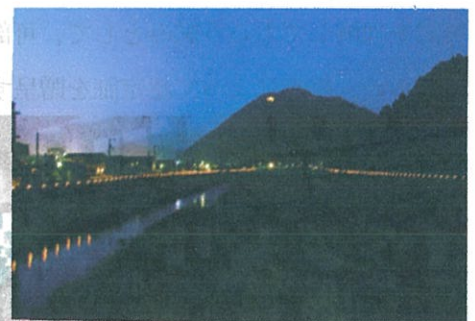
ご存知のとおり「大文字祭」では大の文字が提灯で飾られます。その提灯にあやかって大文字を応援するために、根の谷川をライトで飾ろうというのがカラスの「灯り」イベントです。

昨年は初めての試みで、左岸で実施しましたが、事前のPR不足もあって、イベントの後で、写真を目にした人たちから、「こんなイベントがあるとは知らなかった。来年も是非…」との声が聞かれました。

今年はもっと充実したものに…、定例会で相談した結果、兩岸に火をともしことに決定。更にガラスに代えてペットボトルの活用を思いつきました。

これが大成功。経費は安上がり、人気は上々。見物客から賞賛の声が上がります。「こりゃあすごい。感動じゃ。」とか、「翌日近所でも、灯りの話で持ちきりじゃった」などなど…。

これからも大文字祭りにあわせて、この灯りをともし続けたいと思います。



可部カラスの会

第108号 2007.7.15

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3
Tel1814-0162(寺本)
karasu@ms9.megaegg.ne.jp

10年間応援ありがとう これからもよろしく

可部カラスの会代表 友 広 大 造

今から10年前に安佐北区役所からの応援で「まちづくりグループ可部カラスの会」が立ち上がり、最初は具体的に何から進めればいいのか分からないままスタートして、名前がユニークなので町民から、「会の名前を変えた方がええでえ」など色々の反響がありました。

この10年の間に、広島市長の「街づくりデザイン賞」を初めとして、ライオンズクラブ、多山報恩講財団、日本一小さな親切運動財団、総務大臣賞、国土交通大臣賞などいろんなところから表彰をいただき、その都度会員のみなさんと祝賀会を兼ねて反省会を開催して表彰のエピソードで会場は盛り上がった思い出がたくさんあります。

定例会を月2回開催しておりますが、最近の話題は「これまでは楽しくやってきたが、これからどうするか、会員を増やすには…」などなど、設立当時60才の会員も70才になり、体の切れも落ちてきておりますが、会の皆さんはまだ30才代の気力、精神力でがんばっております、(まだ若い者にや負けらりやあしません)。

カラスの会のコンセプトは「やらねばならない」でなく「やったほうがいい」又「楽しみながら、面白おかしく進める」まあ、こがあなことを云いながら、できるまでやろうやあ。可部の人の平均寿命が90才じゃけえ、まだ30年は続けられるよおねえ。

可部カラスの会はこれからも、町の人たちと楽しむ会になれるように頑張りますので、ご協力をお願いします。

定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

6月13日(水)

報告事項

- ・ いろんな行事でドライバーは飲むことができないのは気の毒。今後検討
- ・ 健康祭り・灯り祭りで気づいた点の整理を灯り祭りで協力団体に礼状の必要があれば連絡のこと
- ・ 可部駅西口モニュメント募金にカラスもカンパを…

活動の検討事項

- ・ 可笑屋1周年記念式典 コンサートや高橋さんのスケッチも展示
- ・ チンチロビッツ担当 新澤・瀬戸 出し物
- ・ バス・可部通
- ・ 可部八景を創ろう

6月27日(水)

報告事項

- ・ 可部東ロマンズ会講演依頼 遠原対応
- ・ 灯り祭り 灯りの拡大は今後検討
- ・ モニュメント寄付 1万円で対応

検討事項

- ・ 年間テーマ 地域副読本 次回で協議・決定 文教に提案も検討
 - ・ チンチロビッツ 7月28日(土) 可部通・可部八景の告知 企業にも呼びかけ・七夕願いごとの成就を祈ろう
 - ・ まちづくり屋台村 10月14日(日) 日程調整 チラシも配布し、大まかなスケジュールも作成・企業にも声かけ
- カラスは運営を主体に

チンチロビッツで星に願いを

7月28日は明神さんの「チンチロビッツ」の日です。JR可部駅付近の夢街道添いに、宮島から分祠された市杵島姫命いちきしまひめのみことを祭る明神社の祭典が行われます。従来から、宮島の管弦祭に合わせて祭典が開かれましたが、今年から7月の第4土曜日だけの祭典として実行することになります。

さて、今年カラスは何をやるんじやろうかとの期待も伺えますが、七夕飾りと、可部通の認定の二つに絞ろうかと考えています。

七夕飾りは今年で3回目ですが、回を増すごとに子供さんたちの間で人気が出てきたようです。そこで今年は竹にぶら下げた、皆さんの願いを叶えてもらうように明神社へお願いに行こうと考えています。願いを書いた皆さんも一緒に神様をお願いしてみませんか。

まちづくりの仲間が集まろう

可部カラスの会が産声を上げて10年が経過しました。その間多くの人たちとの出会いがあり、楽しく活動を続けることができました。活動の中で可部のまちづくりの活性化には、もっと町の皆さんや活動団体の連携が必要であることを痛感するようになりました。

そこで町の人や諸団体の交流の場として「まちづくり屋台村」の開催を考えました。

屋台村には各グループ取って置き情報が満ち溢れ、訪れたお客は店主との楽しい会話が弾みます。そして受付で貰った“横丁銀行発行の、横丁紙幣で情報の売買ができる仕組みです。

お客は、情報を求めて会場をぶらつき、気に入った店で店主と楽しく情報を交換し、気に入った情報を擬似紙幣で売買することができます。

イベントが終了したところで、売上を集計し、たくさんの紙幣を獲得した屋台は賞状・賞金、が貰えます。

名称 可部まちづくり屋台村

目的 市民活動団体の取り組みの成果を発表する場を提供することで、市民への啓発と活動団体の育成・発展・ネットワーク化を図ります。特に「団塊の世代」へ市民活動巻き込むことが大切です。

参加団体 可部を中心とした各種まちづくり市民団体

日時 10月14日(日) 10時～15時 反省会も予定

会場 可部公民館8階

主催 「まちづくり屋台村」実行委員会

カラスたちのスケジュール等

カラスの定例会

7月 25日(水)

8月 8日(水) 22日(水)

カラスのイベントほか

チンチロビッツ(明神祭)

7月28日(土)

神事 17:30 和太鼓 18:00 神楽 18:30

カラスの出し物 可部通の認定 七夕の祈願

クリーン根の谷川

9月24日(祝) 8:00 開始 8:30

集合場所 高松橋下流・上原橋(袂)

まちづくり屋台村 10月14日(日)

福祉センター8階

クリーン根の谷川 今年もやります

今年もまちの人たちの力を集めて、根の谷川をきれいにしましょう。皆様のご協力をおねがいします。

時 平成19年9月24日(日)

午前8時～10時

範囲 根の谷川 井出の上～上原橋

集合場所 高松橋下流左岸

可部カラスの会*

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3
Tel814-0162(寺本)
karasu@ms9.megaegg.ne.jp

第 110 号 2007.9.1

まちづくり屋台村に集まろう

前号でお知らせしたように、10月14日可部公民館8階で、可部を中心に市民活動をしている団体や企業、個人の皆さんに集まってもらい、相互に交流を図るとともに、可部のまちでもっと多くの団体や市民が活動できるような情報公開の場を設けたいと考えています。

皆さんが自由に意見交換などを通して、交流の輪が広がることを望んでいます。第二の人生の出発を迎えられる、団塊の世代の皆さんなど、まちづくり活動に参加してみたい方も大勢あると思われるので、市民の皆さんも気軽にご参加ください。

10年前、可部カラスの会は、安佐北区の事業でワークショップにチャレンジし、1年経過して独立しましたが、活動を開始するに当って、“しななければならない”より、“やったほうがええ”、“一人でも反対する人がいたら、やらない”を確認しました。お蔭様で、悪いイメージの可部カラスのネーミングも認められ、今年のクリーン根の谷川には総勢550名の皆さんの参加者で大成功。昨年からはじめた、大文字の“灯り祭り”もどうやら町の人たちに受け入れられたように感じています。

苦勞も喜びも語り合おうやあ

可部を中心に活動をしている皆さんも、今から活動を進めようとしている皆さんも、まちづくり屋台村を覗いてみませんか。

- ・ 時・ところ 10月14日 10時～15時（18時から交流会を予定）
- ・ 実施内容 可部公民館ほか
- ・ 各団体は1間程度のブース（屋台）で、自分たちのまちづくり活動をPR
- ・ 来訪者はまちづくり銀行で地域通貨を貰い、それで各屋台の情報を買う。よく売れた屋台が優勝
- ・ ミニステージでは、出場団体が活動状況を発表し、自分の屋台をしっかりとPR

定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

- 7月25日（水）
 - ・ まちづくり屋台村（10月14日）福祉センター8階
 - ・ 出店20店舗を目指してがんばろう
 - ・ 班ごとに企画の検討を始めよう
 - ・ 会報配布等希望調査
 - ・ 現在整理中、そろそろ大胆な整理が必要
 - ・ 露菴からイベント連携の提案あり。
 - ・ イベント情報の提供をお願いしたい。
 - ・ 賈金物語
 - ・ 太陽の道資料
 - ・ チンチロビッツ 7月28日（土）
 - ・ 新八景・可部通ほか当日の分担を協議
- 8月8日（水）
 - ・ チンチロビッツ 7月28日
 - ・ 経過の総括 新澤さん
 - ・ 出し物への参加呼びかけに藤原さんの積極的な声掛けは抜群の効果。
 - ・ 七夕の願いを明神社に祈願
 - ・ H・P用レポート作成を希望（手を挙げて）
 - ・ 今後の活動
 - ・ 根の谷川クリーンキャンペーン（9月24日）準備開始。（昨年のデータ等配布）
 - ・ 西口・まち巡りは別途打ち合わせ
 - ・ カラスの10周年 別途検討
 - ・ まちづくり屋台村（10月14日）
 - ・ チラシに事務局を明示・企画書も修正
 - ・ 最新チラシを可笑屋へ
 - ・ 地域ブランド企業への声かけ 瀬戸さん
 - ・ 本質を見据えたイベントに…。
 - ・ 文教への呼びかけを…（梶川さん）

可部通と七夕と可部八景と

明神さんの夏祭り

可部カラスが明神さんの夏祭りに参加するのは今年で7回目、おかげさまでチンチロビッツでも定番の参加グループの一員になったようです。

会場はJR可部駅前の広場、出し物は“可部通クイズ”と七夕の笹竹に願い事を書きこむ“星に願いを”、そして可部の新しい景観を見つけ出す“可部新八景”を選んでもらう試みと、三つのテーマで望みました。

例年設ける大きなテントの憩いのイスも据えて、お客さんを待ちます。

今年は願いを書き込んだ願いが、成就するよう明神さんに祈願することにしたので、子供たちの願いを神様はきっと叶えられることでしょう。

一方チンチロビッツでは新お目見えの“可部通クイズ”は、3択で、正解の数によって1級～3級の可部通の認定証がもらえるとあって、大人も子供も一生懸命取り組んでいました。

おかげで、カラスの広場は大賑わい。大人も、子供も頭をひねりながら、にっこりする人、悔しそうな表情の子供たち。とても楽しいひと時を過ごすことができました。

午前11時から準備、午後11時の後片付けまで、みなさんよく頑張りました。



クリーン根の谷川は9月24日

継続は力の言葉どおり、可部カラスの会主催、可部学区・可部南学区公衆衛生推進協議会が協賛する“クリーン根の谷川”は、今年で11回目を迎えます。昨年は台風通過を受けた直後でしたね。流されたゴミの中には、大型のごみも見えましたが、参加した皆さんのパワーにすごいものを感じました。

そしてもうひとつ、中学校を中心として、ボランティアに対する

関心度の高さを感じさせられました。

更に予測を大きく上回る550名の参加者で、用意した清掃用具が不足し、手袋も片手分ずつ分けて配るような事態でした。

また、橋桁には大量のゴミが掛かったままでしたが、取り除くには危険を伴うので、専門家に任せることにしました。

また、相当量の粗大ごみも流れ着いている状態でしたが、皆さんの協力で、ゴミの集積場所まで運ぶことができました。

そして今年9月24日(月・祝)に実施することとなりました。参加者は、手馴れた方も多いと思われませんが、川の中に入っての作業はやめましょう。そして怪我のないように作業をお願いします。



カラスのスケジュール等

カラスの定例会

9月 12日(水) 26日(水)

10月 10日(水) 24日(水)

カラスたちのイベント等

9月24日(月・振休)

クリーン根の谷川 8:00~10時

集合場所 高松橋南・上原橋南

10月14日(日)

まちづくり屋台村 8:00~15時

福祉センター8階

11月11日(日)

水質調査&芋煮会 8:00~15:00

可部カラスの会

第 111 号 2003.1.25

謹賀新年

今年も楽しくやりましょう



3回目の“榎の木の門松”で新年を迎えた中川醤油醸造

榎の門松に取り組んだカラス

可部の町でまちづくり活動を進める場合、山繭の話を見無視することはできませんが、とある冊子に載っていた「榎の木の門松」の写真を見て、復活したいとの念願を叶えるため、いろいろ情報を集めました。

幸いなことに、子供の頃に自宅に飾った経験のある朝枝さんのご指導を得て、三木さん宅に門松ができて今年で3回目。

初回の三木さん、2回目は折目の塚本さん、そして今回ご協力いただいた中川さん、ありがとうございました。

ちょっとうれしいメール

いささか紹介が遅れて、格好が付きませんが、可部出身で大阪市在住の方からのメールを披露します。

大阪より・・・可部言葉なつかしくよみました

可部を出てからもう45年になろうとしています。中略。たまたまネットで検索中に「可部カラスの会」を見て、こんなやつたんと、可部言葉がホントに懐かしく、お便りさせて頂きました。

これから、チョコチョコお邪魔します。みなさん、お元気で活躍ください、有難うございました。

事務局 安佐北区 亀山南二丁目 1-3

Tel 082-814-0162 (寺本)

karasu@ms9.megaegg.ne.jp

<http://www.megaegg.ne.jp/~kabekarasu/index.html>

平成20年のスタートに当たり

可部カラスの会 代表 友広 大造

新年明けましておめでとうございます。

可部カラスの会が発足して早くも10年になろうかと思えます。

昨年は可部において念願の「まちづくり屋台村 in 可部」を盛大に開催できたことは、我々にとって又一つ、元気をいただくことができました。

今回の屋台村の参加者との交流がこれから楽しみなところです。

話変わって、私事ですが、1月5日に両延神社において会社の安全祈願、企業繁栄の祈願に行きました。

そのとき祝詞の中に「社員一同心を一つにして仕事に励み…」というところがありました。

果たして我が社はそれが出来ているだろうか、思い直してみました。

完全に心を一つに出来たら、その組織は活性化するし、元気な人間関係ができるのですが現実には難しいことと思えます。

それではどのような環境であれば、心が一つになりやすいかを考えてみました。

- 1) 組織の中にいると楽しい
- 2) 自由に意見交換が出来る
- 3) やりがい、達成感がある

このようなことを思いつきました。

その点、カラスの会としては、比較うまくいっていると思えますが、時々苦しくなることがありますので、今年のスローガンは「おもしろ、おかしく、不真面目にやってみよう」

を合言葉にして、進めてはどうでしょうか。

今年もやります好評のイベント

可部カラスの会は今年で10年目を迎えますが、これも皆さんの暖かい応援の賜物と、感じ入っているところです。

イベントもいろいろ考えてみて、やってみて…の連続ですが、最近新しい試みとして皆さんにから好評を博しているものに「可部通クイズ」と「可部新八景の」があります。

皆さんの写真も対象に可部新八景の候補

古い話ですが、可部の景勝を“七言絶句”の漢詩でまとめた作品が可部八景として公開されたことがあります。

- * 明神社松風景 * 熊谷城址 * 高松橋秋月 * 福王寺晩鐘
- * 阿武山積雪 * 茶臼山遠霞 * 大田川帰帆 * 発電所夜景

照会した漢詩のタイトルからイメージしてみても、景観の一部を頭に浮かべるのに精一杯といったところですね。

その後、可部のまちの環境も時代の大きなうねりの中で変化してきました。そんな状況の中で新しい可部の可部八景を再現してみたいとの話が持ち上がり、「可部新八景」と名づけて。町のイベント（チンチロピッツ・可部の町めぐりなど）で展示するとともに、皆さんに“お好みの景観”を選んでいただきました。

右の表がその結果なんですが、ここで気がつきました。カラスの目で見ると大勢の皆さんに参加して、皆さんの“一押し”の作品も提供してもらって、もっと賑やかになれば…と考えました。

どうか皆さんにも力作を提供していただきたいんです。ご協力を。

可部通クイズも続けるよ

もうひとつ、“可部知ってる”クイズも人気をいただいています。可部の歴史や、出来事など、3択の設問に答えて、1～3級の可部通認定証を送るもの。大人はもちろん、子供たちも楽しんで参加しています。なにかイベントがあるときには、どちらかの企画を開く予定です。カラスの屋台をのぞいてみてください。

高松山 灯り祭	204
眺望	84
自然・城址	53
計	341
熊谷氏菩提所の石垣	61
寺山公園・可部高校	35
大田川橋	35
千代の松	30
亀山発電所跡	27
南原発電所ダム等	24
品窮寺 門かずき	24
伊勢ヶ坪城址	22
可部駅西口広場	20
可部旧街道町並み	19
根の谷川ふれあいロード	11

カラスは昨年こがあなことをやりました

12月29日(土)	12月12日(水)	12月2日(日)	11月11日(日)	11月4日(日)	10月14日(日)	9月24日(日)	8月1日(水)	7月28日(土)	6月30日(土)	6月13日(水)	5月26日(土)	5月19日(土)	4月28日(土)	4月1日(日)	3月11日(日)	2月17日(土)	2月14日(土)	1月17日(水)	1月4日(木)							
榎の門松飾り付け 中川家	忘年会	レモニー実施	可部駅西口モニュメント完成セ	根の谷川水質調査	可部町めぐり 夢街道協賛	まちづくり屋台村 in 可部開催	クリーン根の谷川250名参加	会	古い可部の町の講演(ロマンスクイズ)	参加(可部八景・可部知つとる)	明神祭(チンチロピッツ)に	可笑屋開設1周年記念式典	可部新八景募集の提案	灯りプロジェクト(大文字祭り)	応援	第3回安佐市民病院 健康まつり参加	(以降5回開催)	まちづくり屋台村発起人会	お花見会	福岡市でカラスの活動を紹介	加納	まちづくりフォーラム	縄文機展示実演(お手伝い)	プレイパーク(根の谷川)で	広島歴史街道トリップ視察	正月飾り(塚本家)取り外し